



とちぎマイスター「建築大工（大工工事作業）」の技能の例 高度な技術に培われた「在来軸組工法」

こばやし としあき
小林 俊明



高度な技術・技能による「在来軸組工法」

(現在の仕事)

「在来軸組工法」による和風住宅の施工を得意としている。また、業務の傍ら、鹿沼共同高等産業技術学校の指導員や、業界団体の役員としても尽力している。

(得意な分野)

現場にて50余年の実務経験を積み、その間培った高度な技能を駆使した「在来軸組工法」による和風住宅の建築を数多く手がけるとともに、建築業界の要職に就くほか、災害防止にも力を注ぎ、業界の発展に尽力している。

技能の向上は人づくりから

地元である鹿沼産の木材を使用し、木の良さを活かすような設計・施工を得意としており、建築物コンクールに入賞するなど、高い評価を得ている。

また、日本建築の優れた建築技能を伝承すべく、小中学生のものづくり体験や鹿沼共同高等産業技術学校の指導員として、熱意を持って指導にあたっている。

技能の向上のためには、技術の習得はもちろんのこと、

挨拶がきちんとでき、整理整頓をいかにしているかなど、人としての基本が身につけていることも重要である。若い技能者の方々には、常に基本を守りながら鍛錬を続け、日本建築の技術を継承して欲しい。

